

## 2019年度 第2回ビジョン委員会 議事録

■日 時 2019年6月26日(水) 13:30~17:00  
■会 場 日本代協 会議室  
■出席者 10名 欠席:野元専務

(敬称略)

代協		委員名	代協		委員名	代協		委員名
東京	◎	高橋 克之	東京	○	岩瀬 憲昭	高知		中村 真宏
福島		星 一郎	静岡		大畑 邦明	福岡	○	大塚 昭彦
新潟		広田 久男	滋賀		大谷 和之			

<担当副会長>小平 高義 <事務局>特命部長:小出 鋭(記)

◎:委員長 ○:副委員長

### <委員会での決定事項>

- ・会費モデルの基本方針を決定
- ・鑑定補助制度に関する要望書の骨子を次回決定
- ・代理店経営サポートデスクと連携し、会員向け支援策を今後提供

## 議 事

### I. 挨拶

#### 1. 高橋委員長挨拶

- ・梅雨の蒸し暑い中、出席いただき感謝申し上げます。
- ・今回がこのメンバーで5回目の委員会である。任期も残り少なくなり、来年4月が最後の委員会となる予定である。
- ・先日、日本代協通常総会・全国会長懇談会等が開催され、各代協会長と会話する機会があった。その中で、我々の想定以上に会費の問題に直面している感があり、委員会で可及的速やかに、且つ参考となる会費モデルを提示したいと考える。
- ・過去の組織内論議資料を確認したが、勤務型代理店を一般会員、別個登録ではない代理店の支店を一般会員・賛助会員(当初は個別例外規定で正会員として対応)等に一定整理しており、再度この委員会で分かり易く整理した上で、各代協に情宣できるよう論議いただきたい。
- ・また、会員向けの支援策についても、今年度設置された「代理店経営サポートデスク」との連携が重要であり、この後情報交換の場を設けている。
- ・本日も熱心な論議をお願いしたい。

#### 2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に岩瀬副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

### II. 報告事項・情報共有事項

#### 1. 報告事項

##### (1) 理事会・臨時総会・ブロック長懇談会報告

- ・事務局より、配布した三冠王関連資料、日本代協ニュース、理事会議事録・通常総会次第・全国会長懇談会次第の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・2019年度の三冠王は、損保代理業国民年金基金の業務終了に伴い、従来の「仲間づくり推進」(今年度「会員増強」から名称変更)と「損害保険大学課程コンサルティングコース受講者募集」に「重点取組4項目から何れか1項目達成」で三冠とする。重点取組4項目は1項目達成で1冠獲得とし、3冠を超えた場合は最高6冠まで特別表彰とする。
- ・全国会長懇談会では、分散会を会員数による規模別にグループ分けし、事業計画の目標や組織活性化の具体策等の意見交換を行った。その後、警視庁サイバーセキュリティ対策本部によるセミナー「サイバー犯罪の現状と対策」を受講し、サイバーセキュリティ対策の理解を深めた。

## (2)2019年度諮問事項

- ・高橋委員長より、2019年度の諮問事項の説明があった。
- ・昨年より論議した会員資格に関しては、会費モデル提供の段階まで求められていると述べた。
- ・大規模災害時の鑑定補助制度創設に向けては、検討した内容を要望書等に取り纏め、損保協会と折衝するところまでやり遂げたいとの意思表示があった。
- ・今年度新たに代理店の体質強化に向けた支援策の検討と提供が諮問され、日本代協事務局内に設置された「代理店経営サポートデスク」と連携し、取組むこととした。
- ・また、前年まで論議した代協経営に資する支援施策の検討に関しては、自主取組みで何らかのフォローをする予定とした。

## (3)前回委員会の振り返り

- ・前回のビジョン委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

## Ⅲ. 審議事項

### 1. 代協正会員、一般会員、賛助会員資格のあり方

- ・現行の一般社団法人運営マニュアルで前回論議した内容を加味してリニューアルした箇所を全員で確認し、意見交換を行った。
- ・会員資格に関しては、前回合意した内容で問題無いことを確認した。
- ・役員を選任に関する項目で、正会員以外から理事を選出する際、「2名以内」と記載されている箇所を「●名以内」という表記に変更し、各代協で判断いただくこととした。正会員以外の理事に関しては、外部の目によるチェック機能の観点から員外理事も理想であるが、実態は正会員として理事で活躍していた会員が他代理店の使用人となったことで一般会員となるケースが多い。その際、公益法人認定法第5条第11号に役員の3分の1規定(強行規定)があり、この考え方を準用した注意文言を留意点として記載することとした。
- ・今年度の総会においても、正会員以外の理事数を変更した代協の事例が報告された。

### 2. 会費モデルの検討

- ・事務局より、各代協から提出された総会議案書を点検し、今年度以降に会費変更を付議した代協の事例を説明し、モデルケースを論議する上での参考とした。
- ・各代協の収入金額合計を全正会員数で除した1会員あたりの金額は約45,000円であり、会費額設定時の判断材料とすることとした。
- ・入会金・会費額一覧表(2018年度版)にて、モデルとなる代協の会費体系を参考に、募集従事者数方式の目安を出すこととした。
- ・また、各代協正会員の募集人数別店数データ等を提供し、具体的金額設定時の判断材料として活用いただくこととした。

### 3. 大規模災害時の鑑定補助制度創設に向けた検討

- ・岩瀬副委員長より、前回までの検討合意内容(災害種類は地震とし、代理店サポートの範囲拡大を目指す)を説明し、損保協会への要望事項の論点(損害区分と対象事案等)を整理した上で、意見交換した。
- ・現行制度の損害区分は一部損としており、小半損・大半損までの範囲拡大が望ましいとの意見が出された。加えて、全壊等の一目で全損と判別できる損害も対象とする意見も出された。但し、制度の根幹部分においてはお客様の自己申告をサポートする制度であり、小半損・大半損の判別ができるか否か等の課題があることを共有した。
- ・損害認定においては、将来的に GPS 搭載のドローン等で撮影した写真で判別ができたり、保険会社の契約者向けアプリで画像伝送する仕組みが高度化することで簡素化されるとの意見が出されたが、代理店を信頼して依存している顧客層が一定数存在することや被災等によりアプリ使用不可となることを踏まえ、論議を継続することとした。
- ・対象事案は木造建物(在来軸組工法)と家財となっているが、2×4 工法や鉄骨造・鉄筋コンクリート造に拡大した場合、鑑定業者並みの専門知識が要求されることから、現行のままの見解に至った。
- ・費用については、現行 3,000 円の妥当性につき意見交換したが、結論には至らなかった。
- ・制度創設の際は、会員に周知徹底し、保険会社による公正な運用等を求めることとした。
- ・次回、要望書の骨子を決定することとした。

### 4. 代理店の体質強化に向けた支援策の検討

- ・代理店経営サポートデスクの粕谷室長(日本代協アドバイザー)より、自己紹介と駐在日時(火・水・木曜日の 10~16 時)の説明があった。とりわけ、毎週水曜日は直通電話による代理店経営相談に特化する(専用メールは随時受付)。7 月から本格稼働し、代理店経営の支援施策を一元管理する。個別相談内容の集計・分析結果をビジョン委員会と共有し、施策提供等にも活用予定。
- ・当面取組む支援策は、小規模代理店でも取組める BCP 策定支援と説明した。簡易手順書を作成・提供し、本格的な BCP 策定に取組める段階をゴールとするもので、それ以降は各保険会社提供の優れたマニュアル活用により、ブラッシュアップを図るシナリオである。
- ・また、戦略的事業継承による代理店の合併支援も行う。具体的には、対象代理店の顧客マッピングを提供するなどして、当事者同士が納得した合併を目指す。
- ・既存施策である「代理店 Web 監査」「代理店 HP 構築支援サービス」等についても、活用推進に繋がる役割を担う。「代理店 Web 監査」に関してライトバージョンを検討し、更なる活用を促す。

### 5. 活力研に向けて

- ・高橋委員長より、今回は先ず前回時間切れで論議できなかった項目(代理店の「質」と「量」のバランス評価)の意見交換を行うとの説明があった。他の論議テーマは未定で、別途連携と補足した。
- ・代手ポイントに関して、各社が品質ウェイトを重視してきたが、一定の収保規模がポイント獲得要件(量ベース)となっている会社もあり、今後の課題との意見が出された。

## IV. その他・閉会

### 1. 情報提供

- ・事務局より、日本代協アカデミーのスタートアップチラシ、JCM 社の活動支援金支給施策(期間限定)、「みなさまの保険情報」の活用推進について説明した。
- ・また、先日の通常総会における金融庁 横尾保険課長の来賓挨拶の中で、日本代協アカデミーに触れていることを紹介した。

## 2. 小平副会長挨拶

- ・長時間の論議にお疲れ様と申し上げたい。
- ・また、先週の大地震の影響がある中で出席いただいた委員に感謝申し上げます。
- ・先日の理事会にて、2019年度の諮問事項が決定した。従来と異なり、各委員会毎に項目を絞り、より実効性を求めていることが今年度の特徴である。
- ・理事会翌日の全国会長懇談会においても、何名かの会長から会費モデルの提供に関して強い要請があり、喫緊の課題であると感じた。期待に応える回答が出せるよう、しっかり論議いただきたい。
- ・教育委員会が中心となって展開している日本代協アカデミーに関しては、全委員会がコンテンツ提供に関与することが大事であり、ビジョン委員会ならではの発想で協力いただきたい。
- ・各委員会が取り組んでいる様々な事業にも関心を持ち、所属代協等において情宣いただきたい。
- ・今年度もよろしく願いたい。

以上

次回開催日 2019年10月4日(木) 9:30~13:00